

01. 緑色の高層ビルが大きく揺れる泉ガーデン

三田慶子 62歳 会社役員 文京区千石在住

- どこに誰といましたか。

港区六本木の泉ガーデンに、15時からのブランドのセールに友人と来て待っていました。友人はすぐに外へ出ました。私は、揺れ方が尋常でないのととりあえず受付のテーブルの傍に身を寄せましたが、その後外へ出ました。外で見た光景は、緑色の高層ビルが大きく揺れていたこと、目の前の歩道橋がとくに大きく揺れていたこと。ただあまりのすごさに、自分が目まいで揺れていたのかと錯覚したくらいです。けれど、最新技術のビルは壊れませんでした。

- どのように自宅に帰りましたか。

15時半ごろセールの中止が決定。友人の夫が車を駐車場に取りに行き、すぐ友人と車に乗ることができました。赤坂も日比谷も、歩く人が出始めていました。友人の家も近所でしたので、自宅まで送ってもらいました。普段は17号線を巣鴨に向かうのにすでに渋滞が始まっていたので、友人の夫の勝手知ったる裏道を通り、16:30頃には帰宅できました。自宅は鉄筋3階建です。

- 何が一番気がかりでしたか。

90歳の父と娘と夫に携帯で連絡をとろうとしたのですが、なかなかつながりませんでした。かろうじて自宅にいた夫と電話がつながり、揺れていた間は買ったばかりの42インチの地デジ・テレビを抑えていたとのこと。父親は仕事場でテレビのニュースを見ていたとのこと。娘は電車に乗る前に立ち寄った巣鴨駅のブックショップで、本が棚から落ちるのを見てその後JRが動かないと思い帰宅したので一安心しました。その後、親戚や東北に住む友人に連絡をとりましたが、なかなかかからず心配しました。

- 最後にひとこと。

昼間の地震であったことは不幸中の幸いでした。後で考えると、あわてることのないよう、一家の備えは十分してありました。また、頼りにしていた携帯が、こんなに不便なものとは思いませんでした。

2011年6月13日